

号外

18.7.4

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)／〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号／TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268／発行責任者=石田精三
／編集責任者=韓秀根

2019年度版
比較・検討
「特別の教科 道徳」
(中学校2年生)
の教科書 ③

よりましな教科書の採択を！

〈2年生の各教科書の比較〉

○評価できる ▲気になる点あり ・取り扱い次第 ゴシックは単元名
※文中の言葉「手引き」は教材のあとにある問いなど、「コラム」は関連
する補助教材や資料など、教材名の前の数字は目次の番号

		日本教科書(日本)	光村図書(光村)	学研教育みらい(学研)	廣済堂あかつき(あかつき)	日本文教出版(日文)	東京書籍(東書)	教育出版(教出)	学校図書(学図)
A 憲法・法律	権利・条約	▲1十四歳の責任 14歳になると刑事裁判にかけられ刑罰を科せられると少年法、賠償責任等を強調。				○人権課題への取り組み(コラム) 世界人権宣言が掲載されている。			
	きまり・ルール	▲10マナーとルール 厳罰によりルールを守らせる、割れ窓理論(コラム)との対比が必要。 ▲10二通の手紙 納得がいけないことにも従うべきなのか。	▲大人と接するとき(コラム) 表情やしぐさ、接し方や話し方などについて「お辞儀をするときは腰から曲げる」など細かく例示。 ▲15 秀さんの心 礼儀正しい師匠のふるまいに胸を熱くする弟子。礼儀の意味について考えさせるが、教材がわかりにくい。		▲2いつでも・どこでも・誰とでも 食事のときにスマホを操作することをマナー違反と指摘。マナーは守るべきものを強調し、何のためのマナーか考える教材になっていない。	○「いじめ」をなくすために(コラム) 「いじめ」とみなされる行為を法律的な視点から見ると、様々な視点でいじめ防止について記述。 ・11美しい鳥取砂丘 どのようにすれば砂丘への落書きがなくなるかを、多様な視点で考えることができる。	▲2ばなしの女王 他人に迷惑をかけてはいけないというメッセージのみを強調。 ▲12ゆるさない心 決まりがなかったら、暗くいやな社会になってしまうと断定。何のための決まりか考えるべき。	▲10一枚の葉書 礼儀を重んじ、厳しくしつける父親。子どもの人権が尊重されにくい家父長制の雰囲気がただよう。	▲2二通の手紙 納得がいけないことにも従うべきなのか。コラムで法やきまり、権利や義務について書かれ、権利と義務を並列に考えさせるようになっている。 ▲11一枚の葉書 礼儀を重んじ、厳しくしつける父親。子どもの人権が尊重されにくい家父長制の雰囲気がただよう。
			▲28箱根駅伝に挑む 節度、節制のある生活が好成績につながるとするが、根拠が不明。成績を上げるためには、節度、節制のある生活が必須であるかのように表現。		▲7これは駄目？ これも駄目？ 節度と節制について記述し、イラストで「ゲームに夢中になって夜更かしする男の子」「テストに備えて徹夜する女の子」など性別によるステレオタイプを助長するものを例示。			▲24復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～ 「自治3訣」としてお世話にならないことに大切な価値があるように書いている。その範疇に入らない子の否定につながらないか。	
B 平和・人権	差別	○11こんなとき、どうしたらいいの？ 障害者差別解消法の説明。事例にもとづき話し合う。	○22明日、みんなで着よう いじめに対して抗議の意思を表示するアクションを紹介。傍観者がいじめなどに加担することになると指摘。	○6美しい母の横顔 外見への偏見についてとりあつかっている。	▲8燃え盛る炎 「どんな人間にも生きる資格があるのなら、それは、何によるのだろうか？」と問いかけ、答えとして「何かをしないではいけない」というメッセージを掲載。	○8リスペクトアザーズ アメリカの学校で、人間関係のトラブルが起こったときに使われる。日本に帰ってきて個性が認められないことに戸惑う。日本でもこの言葉が浸透すればいいという思い。コラムで、人権課題のとりくみとして、アイヌの人々に関することや、同和問題など、日本の課題を示している。	▲付録2宝塚方面行きー西宮北口駅 女子高校生についてマナーが悪い、小賢しいと固定的なイメージで書かれている。		・7傍観者がいいのか コラムで偏見や差別を紹介しながらも、社会の問題を個人の問題にしている。 ▲25「これ以上、がんばれない。」って平気な顔で言うな。 弱さを克服した自分の生き方、価値観の強調にとどまっている。
	戦争	▲台湾に遺したもの(コラム) 台湾に日本の優秀な人材が赴任し、今も尊敬されているなど日本の台湾統治を正当化。	・23アンネのバラ ユダヤ人虐殺についての記述が少ない。		▲19尊い玉子 戦時中の話だが、戦争についての記述が少ない。戦時中の厳しさゆえの行いを、個人の問題にしている。	・9戦争を取材する 診療所の視点からの戦争。戦争についての記述は少ない。 ▲日露友好のかけ橋(コラム) 収容所での心温まる交流だけが美化されて掲載。	○19六千人の命のビザ 杉原千畝が国の方針に反してビザを出した話。コラムでユダヤ人の虐殺等について記述。	○21国境なき医師団・貫戸朋子 十分な物資がない中で命を大切にすることはどうか、自分の体験を話す。	

		日本教科書(日本)	光村図書(光村)	学研教育みらい(学研)	廣済堂あかつき(あかつき)	日本文教出版(日文)	東京書籍(東書)	教育出版(教出)	学校図書(学図)
B 平和・人権	L G B T	・9だから歌い続ける 性同一障がい悩む子どもを、教員だけが支えるとの視点。							▲28自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること 性のあり方は人の数だけあるとしながら、セクシャルマジョリティを例示し、性のグラデーションの意図が伝わらない図を使用。
		○12秀明の初ボランティア 夜回りの話。偏見に気づく。 ▲雨の日のレストラン 長時間労働を助長しかねない内容。	▲5友達はライバル ▲8違うんだよ、健司 上記2つの教材とも性の多様性についての視点が必要。 ・11つながる命 脳死や臓器移植について記述。さまざまな考え方がありと書いているが、臓器提供して命をつないだという話だけを詳しく掲載。 ・14夢を求めてパラリンピック 手引きで「目標を設定し、困難を乗り越えていくために」という表現は、受け止め方によってはしょうがい＝マイナスだと読みとれる。	○4ソムチャイ君の笑顔 転校生について英語が話せるかどうかで評価していた孝文が、何語を話すとかどこの国の人かなんてことは関係なく友達を大切にしたいと気づく。 ・グレゴリオ君のシュート ブラジルからきているからといって、サッカーが得意とは限らない。ステレオタイプ。	・13明かりの下燭台 「真に誇り高い女性」と表現。 ・30迷惑とは何ぞ 身体しょうがい者が暮らししていくうえで必要な介助は、誰かにとっての迷惑ではないと記述しているが、身体しょうがい者にのみ言及していることに違和感。映画と自身の経験をもとに論じているが、内容が説教的。	・15「自分」ってなんだろう ありのままの自分という存在が、かけがえのないものだということを、4コママンガでわかりやすく紹介。しかし、手引きによって、特定の価値観に誘導。	▲6ゴール バスケ部の女子のグループラインでのいじめ。グループラインの問題＝女子のイメージ。 ○9渡良瀬川の鉱毒 国が企業や貿易の発展を重視し、民衆の生活を軽視する。それに対して抗議する姿が描かれている。	○13たすきとボンボン 「役割って性別で決まるのか」と迷う姿から多様な議論につながる。 ・17六千人の命のビザ 杉原千畝が国の方針に反してビザを出した話。	▲4ゴリラのまねをした彼女を好きになった 漫画にしたことにより女性の固定的なイメージを与えてしまっている。 ▲12僕にとっての東京オリンピック オリンピックを楽しみにしている祖父と孫。オリンピックに対し過剰に肯定的では。 ○16真実から真理を求めるーガリレオ・ガリレイ 思い込みや先入観について改めて考える視点を提示。 ▲30ふきのとう コラムで「勤労」を社会の発展のために欠かせない尊い行いと強調しすぎること、様々な理由で働けない者への厳しいまなざしに繋がらないか。 ○32大きな木 臓器提供について様々な情報を提供し議論を促している。
C 伝統・家族	日本観	▲18白菊 ホノルル市と長岡市は姉妹都市。真珠湾攻撃の慰霊・鎮魂のために上げる花火。コラムに16.12.27の安倍首相の真珠湾でおこなったスピーチを掲載。「花火にこめた平和への願い」 日文1年との比較を。 ▲11キスからもらった勇氣 ロシア革命時の混乱で日本が受け入れたポーランドの子どもの話。阪神大震災の際いち早いポーランドからの支援。「鶴の恩返し」的。 ・17日本にオリンピックを呼んだ男 「日本人の血統を引いている」の表現。 ▲17ウズベキスタンの桜 日本は戦いに敗れてもほこりを失わない、日本人は勤勉、スゴイという印象。日本からの捕虜を自国の劇場建設に携わせる行為や日本の加害の行為には触れず。	○18私の町 手引きで「どんな伝統や文化があるか？」という問いは、中立的。 ▲21さよなら、ホストファミリー 日本の歴史や文化について知らずに恥ずかしいと感じる主人公。しかし、本文中にはニュージーランドの文化や歴史、政治について詳細な記載はない。「日本人としての自分を知ることができた」という主人公のセリフにも違和感を覚える。 ○国際人道支援（コラム） 国境なき医師団の活動を紹介。	▲15尾高惇忠が目指した福岡製糸場 ぜひととも国の役に立ちたい、日本をより豊かにしたいために自身の財産をかけても製糸場を建てようとする姿が記述されている。 ▲24ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン 明治期に会った日本人の素晴らしさを一面的に紹介。それを今の日本人と比較するのは極端。 ▲35声援を力に 第七十二代横綱 稀勢の里 日本人の力士としては19年ぶり久々の日本人横綱の誕生という表現がある。外国人の力士の存在を軽んじているように感じる。	▲23路上に散った正義感 新聞記事の中に「我々日本人の間では、古来、社会的な連帯感が強く」など一面的に記述。 ▲28国 日の丸、君が代の下、行われた戦争について言及せず、礼儀として国旗、国歌への敬意を強調。	▲19さよなら、ホストファミリー 「自分の国のことを知らないっはずかしくない？」と言われ、日本人としての意識が深まったという記述に違和感。 ○30包む 「包む」という文化が、形を変えながら、現代にも伝わっていると記述。実際に体験する項目もある。	▲13心でいただく伝統の味 「日本人は…」という表現がたくさん出てくるが、それは日本人だけとは限らないのでは。 ▲24大切なものは何？ 公を自分以上に大切にする武士道を外国人からみた日本のよさとして紹介。		▲6国 日の丸、君が代の下、行われた戦争について言及せず、礼儀として国旗国歌への敬意を強調。コラムでも日本人の特徴として、器用さ・勤勉さを上げ、その結実として世界に誇る新しい伝統に「科学技術」を紹介。 ▲26日本人として 自国を誇りに思うトルコの友達に触発され自国の文化の素晴らしさを伝えられるようになろうとする。多様な意見が出にくい。 ▲31希望のビザ スギハラさんへの感謝の言葉が多い。全体的に9ページもあり長い。
	家族観		その他、気になること ▲9民主主義と多数決の近くて遠い関係 議論を尽くすが、決まったことを進めていくためにはある程度「我慢が必要」と表現。我慢ではなく議論が必要では。 ・12 段ボールベッドへの思い 手引きで「働くことを通して社会に貢献するとは、どういうことだろう」と問う。働くこと＝社会貢献と一面的に考えることになるのでは。	▲31お通夜のこと T P Oについて仕事の際の社会常識をもとにアドバイスをもたらるのが「父」という設定。			○26奇跡の一週間 手引きで三つのいのちについて、いろいろな考えを紹介している。 ▲29ごめんね、おばあちゃん 介護の問題など家族で困った時には家族の思いやりや協力で解決する。		・17父の言葉の意味を知って 家ではごろごろしている父が外では腕の立つ職人。仕事さえすれば家事をしなくていいという父親像を肯定。 ・20ごちそう 娘は2人の娘と表記しながら息子を息子とせず長男と続柄で表記。 ▲コラムで家事を親から頼まれる理由として家族の責任であり、あなたの将来を願う愛情でもあると一面的に表記。
		その他、気になること ・22絶望からの生還 ・22二人の剣士 ・廣道純さんからのメッセージ（コラム） いずれの教材も、しょうがいに負けずにがんばる姿が描かれ、それだけが評価されることにならないか。	その他、気になること ▲9民主主義と多数決の近くて遠い関係 議論を尽くすが、決まったことを進めていくためにはある程度「我慢が必要」と表現。我慢ではなく議論が必要では。 ・12 段ボールベッドへの思い 手引きで「働くことを通して社会に貢献するとは、どういうことだろう」と問う。働くこと＝社会貢献と一面的に考えることになるのでは。 ○なんだろう なんだろう 「ゆるす」について漫画で記載。多様な考え方を例示。 ○27「桃太郎」の鬼退治 「ボクのおとうさんは、鬼太郎というやつに殺されました」という新聞広告を紹介。 ▲30嫌われるのを恐れる気持ち 「嫌われるのを恐れるということは人間の生き方としてひきょうで臆病なことか？」と問う。時と場合により異なることを一律に論じるのは乱暴では。 ○32クロスプレー 公正、公平ということのことさら強調していない。	▲7サキとタク 「これだから男子は」や「クラスの女子は」という男子観、女子観が一面的に書かれている。 ▲23未来から来たおじいさん ひどい未来にならないようどんな心がけが必要か、自分のできることを考えさせる。国や社会制度に目を向ける視点が乏しい。	その他、気になること ▲手引きの「考える・話し合う」で、どの内容項目について考えるか、明示。特定の価値観を押し付けることにならないか。 ○9君、想像したことある？ いじめについてとりあげている。 ○35看取りの医者 命の尊厳についての教材。延命措置について様々な考え方があり記述。	その他、気になること ○環境保全と持続可能な社会（コラム） 足尾鉍毒事件についてなど、様々な角度から自然環境と人間社会の関係について記述。 ○教材のあとにあるコラム「ブラットホーム」では人権にかかわる課題がとりあげられ、内容も充実している。	その他、気になること ○7左手でつかんだ音楽 マヒした右手を動くようにリハビリをがんばる父に、左手だけで演奏する曲の譜面を届ける。固定観念を転換している。 ○10私は十四歳 回り道をしながら、いろいろなことに挑戦する姿を描いている。	その他、気になること ・19五万回切られた男・福本清三 「日本男子の美学の象徴」「切られた男」という表現でことさら男を強調。	その他、気になること ○10命ということ ドイツの農場で豚を解体してソーセージをつくるのを見学に行かせてもらう話。色々な命をもらって生きていることを知る。 ・21市内マラソン大会出場 コラムで安全で安心な体のための心がけとしてチェックリストで「適度な運動」という項目。配慮が必要。 ▲23夜の果物屋 コラムで「その人にとってよりよいことは何か考えて、支えてあげたいものです。」と表現し一方的な思いやりや感謝を強調。